



尽誠学園高校男子ソフトテニス部の皆さん

### 男女混合で対戦するハイレベルな舞台

大会会場の善通寺市民体育館には、どこか引き締まった空気が漂っていた。選手たちの打球音が乾いたリズムで響く。今年で第3回を迎えた「エフエーエスカップ」には、今回も国内外のトップ・プレーヤーたちが顔をそろえた。

主催は物流、建設、倉庫業、流通などを幅広く手がける株式会社エフエーエス。代表取締役の内浪達也さんは、「ソフトテニスを通じた地域貢献が一番の目的。子どもたちに夢を与えられる大会にしたい」と熱を入れている。準備は毎回半年以上。協賛企業との調整や会場設営など、社員も本業と並行して取り組んできたという。「簡単ではありませんが、参加してくれた選手たちが『こんな大会はなかなかない』と非常に喜んでくれて。その言葉が励みになっています」と笑顔を見せていた。



2日間のうち1日目は男女混合チームの団体戦、2日目は男女のダブルス個人戦を実施。日本代表経験者や天皇杯チャンピオン、世界大会で輝かしい実績を残す国内の強豪選手に加え、台湾からの招待選手も出場。両日とも国境を越えた真剣勝負が展開された。



エフエーエスカップに出場した選手たちと運営スタッフの皆さん

2月21・22日の2日間にわたり開催されたソフトテニス大会「第3回エフエーエスカップ」。国内外のトップ選手たちが一堂に集う夢の舞台を、尽誠学園高校男子・女子ソフトテニス部の部員たちがサポートした。大会の舞台裏で活躍した部員たちの姿を追った。

# エフエーエスカップを支えた 尽誠学園ソフトテニス部の2日間

国内外のトップが集結する大会。夢の舞台をつくるその背中もまた、主役だった



## 支える立場で気づいた大切なこと

試合が始まると、会場の空気は一段と引き締まる。長いラリーが続くたびに観客席から小さなよめきが起きている。攻守の切り替えや配球



の選択など、トップレベルの緻密さが随所に見られた。目の前で体感するスピードや迫力は、映像で見るのとは比べものにならないほど。

その舞台を支えていたのが、尽誠学園高校ソフトテニス部の生徒たちだ。審判や得点係、受付、来場者案内など、大会運営の多くを担った。全国トップクラスの実力を持つ彼らが、この日はスタッフとして動く。得点板を掲げる手や、来場者への丁寧な対応からは、強い責任感も伝わってきた。



男子主将の増田汰一くんは「支える側に立つことで、大会が多くの人に支えられていると実感しました」と話す。コート

の外で得た気づきは、自分たちが次にラケットを握るとき、プレーへの向き合い方そのものを変えてくれるはずと目を輝かせていた。



尽誠学園高校女子ソフトテニス部の皆さん



### 若い力と共に未来へつなげたい

株式会社エフエーエス 代表取締役 / 内浪 達也さん



大会を支えてくれているのが尽誠学園ソフトテニス部の皆さんです。私も会長も同校出身というご縁があり、審判や受付、売店、案内まで運営の多くを担ってまわっています。本当に彼らの力があってこそこの大会です。強いだけでなく、大人の中での振る舞いや責任を学んでほしい、トップ選手を間近で見る経験は大きな刺激にもなるはずです。この大会が地域や選手、そして生徒たちの未来につながればうれしいですね。

### 準備と責任の中にある学びを感じて

男子ソフトテニス部監督 / 森 博朗さん



部員たちには、この大会に運営サポートとして参加することで、大きな学びを得てほしいと思っています。国内外で活躍するトップ選手たちが集う滅多にない舞台で、プレーの技術だけでなく、試合への向き合い方や立ち振る舞いまで感じ取ってほしいですね。また運営に関わることで、大会が多くの人に支えられているの身をもって知ることでも大切です。感謝や責任を学び、人としてさらに成長してくれればと願っています。

### 「すごい！」を自分たちの力に変えたい

男子主将 / 増田 汰一くん(右)・副主将 / 山本 一輝くん(左)



運営に関わり、ソフトテニスの大会は多くの方々に支えられて成り立っていることをあらためて実感しました。トップ選手のプレーだけでなく、試合準備や気持ちの持ち方まで学べたことは大きいです。この経験を日々の練習や今後の試合に生かしていきたいです(増田) 日本や台湾の一流選手を間近で見て、細部へのこだわりの差を感じました。常に挑戦する姿勢を忘れず、今回の気づきを今後の大会につなげたいです(山本)

### トップの姿勢に近づくための努力を

女子主将 / 早川 真生さん(左)・副主将 / 狩野 琴音さん(右)



トップ選手のすごいプレーを間近で見て、ボールの質や試合の流れの作り方の違いを実感しました。運営にも関わり、試合ができることの重みも感じました。この刺激を自分たちの練習に落とし込み、選抜大会では結果で恩返ししたいです(早川) 一流の駆け引きや試合に臨む姿勢に圧倒され、多くを学べました。チームの強みをさらに磨き、今回得たことを全国の舞台上で発揮できるよう成長していきたいです(狩野)